

１１月の園だより

令和８年１１月２日
目黒区立中町保育園　園長

先月開催された運動会では中町保育園に縁のある方々が大勢集まり、子どもたちの成長した姿をご覧いただくことが出来ました。今年は全てのことが『中町保育園最後』となりますが、最後という言葉を吹き飛ばすほどの子どもたちの笑顔は周りの皆を笑顔にし、また、私たち職員の元気の源であり保育の励みになっています。

運動会を終えて、中央町保育園との交流の機会が増えています。３・４歳児は運動会ごっこや芋ほり遠足での交流、０・１・２歳児も中央町保育園の園庭や園舎内で一緒に過ごすなど子どもたちの関わりも少しずつ進めています。園内でも０・１歳児、１・２歳児の異年齢交流の中で園庭遊びや三角山公園、油面公園に行き、楽しく関わっています。これからも日頃の保育を大切にしながら両園でも相談し、担任間でお子さんの様子を共有することで、安心安全な保育に繋がるよう交流を重ねていきたいと思います。

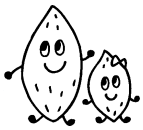
先日、４・５歳児が芋ほり遠足に行きました。４歳児は掘っても掘っても出てこないサツマイモに「つかれた」「てつだって」と言い、途中でひと休みをしながらもやっと掘れた芋に大喜びしていました。５歳児はなかなか抜けない芋に「どれくらい長いのかな」「地下何メートルだろう」と土の中を想像し、掘り続けていました。そして、自分の掘るエリアに何本の芋があったか、太い、大きい、長いなど見せ合いながらサツマイモ自慢をするとても楽しい時間になりました。

今月は、芋ほり遠足で掘ってきたサツマイモで焼き芋会をします。全園児と子育て支援で遊びに来てくださる方々と美味しい秋を楽しみたいと思います。

行事予定

焼き芋会（全園児）
歯科検診（全園児）
交通安全教室（３・４・５歳児）

身体計測　避難訓練



統合に向けて

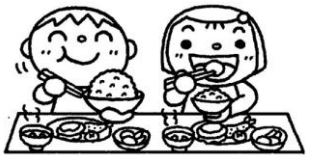
中町・中央町合同説明会・見学会
場所：中央町保育園

『早寝・早起き・朝ごはん』ばい菌に負けない体づくり

朝晩の冷え込みが深まり、体調を崩しやすい季節になりました。子どもたちは自分の体調の変化をうまく言葉で伝えることがなかなかできません。そのため園では“いつもと違う”小さな変化を大切にし、顔色や食欲、機嫌、睡眠の様子、遊び方など普段の様子と比べながら、一人ひとりの体調を見守っています。また、今年は例年より早くインフルエンザの流行が始まっており、手洗いや換気などの感染症対策を行っています。ご家庭でも十分な休養・バランスの良い食事・手洗い・予防接種など、毎日の生活の中でできることを大切にし、元気に冬を迎えましょう。

～インフルエンザにならないために～

① 十分な休養とバランスの良い食事



②こまめな手洗い



③予防接種





つながる笑顔、広がる輪

ほし組（３歳児）

中央町保育園のもみじ組（３歳児）とこれまで散歩先の公園での虫探しや中央町保育園の夏祭りで一緒に遊んだ経験は、子どもたちの中で少しずつ繋がりとなってきているようです。運動会ごっこでもみじ組が来ると、自然に手を振りながら「前にも会ったよね」と声を掛けていました。翌日は中央町保育園の運動会ごっこに出向き、もみじ組が踊ったダンスを見せてもらうと「テントウムシもいるね」「セミもいたよ」ともみじ組の友達がなりきっていることに気づきました。運動会のテーマがどちらも『虫』であることを知り、とても嬉しそうな表情をしていました。好きなものが一緒であることは、子ども同士の仲が深まる大きな一つのきっかけになったように感じます。再度曲が流れると、自然に近づいて隣に並んで踊るなど、子ども同士の距離感が一歩近づいたように見えました。子どもたちにとって“また会いたい”と思える友達になれるよう、これからも交流を楽しんでいきたいと思います。



つき組（４歳児）

６月に中央町保育園との交流でいちょう組の部屋で魅力的な玩具で一緒に遊んだり、夏祭りではワニワニパニックやヨーヨー釣りを経験したりして親しみがわくようになりました。運動会ごっこで中町保育園に来てもらい、フォークダンスで『にんげんっていいな』が流れると「いちょう組の友達と踊りたい」「一緒に踊ろう」と誘い「いいよ」と手をつないでもらえると嬉しそうにし、楽しく踊っていました。その後つき組の部屋に移動し「ここに絵本あるよ」「お絵描きの紙と色鉛筆はここにあるから使ってね」など優しく教えてあげて、しばらく一緒の机で絵を描いたりパズルを楽しんだりしていました。翌日、中央町保育園に行くと「昨日も会ったよね」と嬉しそうに声を掛け合い、一緒に遊びを楽しむことができました。行事を見せ合ったり、散歩先での交流をしたりしてより親睦を深めていきたいと思います。



おひさま組（５歳児）

油面公園に散歩に行くと必ず「坂道ゴロゴロやりたい」と言います。『菜の花の丘』にある斜面を横になって転がる遊びです。シンプルな遊びなのですが子どもたちはこの遊びが大好きで、友達と一緒に大笑いしながら転がっています。単純な動きの中にも、体の使い方でスピードが変わることや転がり方を工夫することなど遊びの中での気づきがたくさんあるようです。この他に最近子どもたちで考えて楽しんでいる遊びがあります。それは、丘の周りを一人ずつ順番に走る遊びです。回を重ねる度に「一人２周ずつ走ろう」と言い始め、それが「今度は１０周走って交代ね」とだんだんとハードになっていきます。皆が必死に走る中でやがて抜けていく子もいますが、走り続ける子の姿を見て「がんばれ」と応援していて、最後には自然とバトンタッチしながら駅伝のようにつなげて走っていました。体を動かす楽しさは勿論ですが、友達と一緒に遊びきる楽しさも感じているようです。友達と意見を出し合い、力を合わせて活動を進めながら達成する楽しさを繰り返し味わっていきたいと思います。

